

会 議 録

会 議 名	平成25年度 第1回 丸亀市自治推進委員会
開催日時	平成25年4月25日(木) 午後6:30~8:30
開催場所	丸亀市役所 本館2階 第3会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p>鹿子嶋 仁 (会長)、大山 治彦、秋山 朋子、天野 裕子、 高木 明美 (副会長)、岡田 宣明、田尾 マツ子、 仁科 清、平井 博士、横田 富美枝、小阪 春南</p> <p>(欠席委員)</p> <p>砂古 敏之、秦 勉、杉江 邦夫</p> <p>(事務局)</p> <p>企画財政部長 大林 諭 (政 策 課) 課長 小山 隆史、副課長 渡辺 研介 (地域振興課) 課長 近藤 克彦</p>
議 題	・協働推進計画の見直しに関する検証について
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
政策課長	<p>本日の会議は「協働推進計画の見直しに関する検証について」を議題とさせていただいておりますが、今回はこれまでご審議していただいている内容の取りまとめの形になりますので、内容の確認や意見等をよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、ここからの議事進行につきましては、丸亀市附属機関設置条例に基づきまして、鹿子嶋会長に司会進行をお願いいたします。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、私のほうで会議を進めさせていただきます。まず、会議について、丸亀市附属機関設置条例の第7条2項に「附属機関の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。」と規定されており、本日は委員総数14名中11名のご出席ですので、会議は有効に成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>また、本日の会議の様子を写真撮影させていただき、後日、「広報まるがめ」への掲載をできればと事務局で考えているようございますので、ご協力お願ひします。</p> <p>それでは、本日の議事「協働推進計画の見直しに関する検証について」であります、資料に基づいて審議を進めてまいります。</p> <p>資料「丸亀市協働推進計画の見直しに関する検証(案)」について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	〔 アンケート資料〈資料4〉をもとに事務局から資料内容を説明 〕
鹿子嶋会長	<p>まず P2~P3 の検証結果の集計について、このような形で良いかという確認ですが、</p>

	<p>判定方法「B」「C」「D」というのはなかなか難しいですね。評価方法はP2にあります、 「施策は達成できたか」といったことの判断材料が、情報発信だとか抽象的なものなので、どこまでできれば実現できたのかということが判断しづらかったと思います。おそらく、もう少し頑張ればもっといろんな事ができるのではないかとことだが、「A」はさすがに付けづらいなあというのを皆さん感じているのではないのでしょうか。そうすると、だいたい「C」で、中には色々やっているというものについて「B」という評価をしているのではないかと思いますので、ABCDという結果よりも、後からご確認いただく、それぞれの意見のほうが今後議論していく上で重要なのかもしれません。</p> <p>P3に「D」評価のものがいくつかあります。上から2番目の「研修会の開催」は、存在意義が疑問だということでしょうか。6番目の「市民活動推進センターの設置」もちよっと多いので、これまでどのように機能してきたか、抜本的に考え直したほうが良いのかもしれません。</p> <p>「市・市民団体提案による事業への参入」にも「D」評価がついています。これは、事業の数自体はあるのですが、その点で「B」評価の方も結構いらっしゃるということで、ちょっと評価が分かれていますね。</p> <p>P2～P3に関しまして、皆さんご意見等はございませんでしょうか。 (意見なし)</p> <p>それでは、P4～P5に入りますが、4項目ございます。これに関しまして、先ほどご説明していただいたとおり「B」とかCとかはこの自治推進委員会の評価がついております。現状に関しては、従前からなされてきたことが書かれておりまして、それから、委員の意見に関しては、上下二段で上のほうが「市の評価（自己評価）に対するご意見」、下段の方が今回新たに追加されたご意見ということになっております。この場でさらにこういう点を指摘したいというご意見等がございましたらお願いします。</p>
天野委員	<p>「体験活動の実施」というところに、コミュニティで「まちづくり計画」の策定状況に差があると書いてありますが、その原因は何なのでしょう。島のコミュニティだと高齢者が多いということが考えられますが、その他にどういった原因があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>まちづくり計画については、強制ではなく、コミュニティ・地域の自主性に任せるような形でお願いしていることが原因ではないかと考えています。</p>
天野委員	<p>コミュニティによって独自性みたいなものはありますか？</p>
地域振興課	<p>コミュニティには独自のやり方があり、それぞれの計画を立てており、独自性は出しております。また、今年に入って1地区策定できましたので、今現在、3地区が未策定となっております。未策定の地区もご検討いただいておりますので、今年か来年くらいには策定していただけるのではないかなと考えております。</p>
鹿子嶋会長	<p>事務局の説明の通り、強制的に作ってもらうというのはもちろん出来ないことでは</p>

	うが、モデル案を示すなど、そういった働きかけはあるのですか。
地域振興課	他のコミュニティでの計画をホームページに載せていますので、それを参考にしてくださいねと思っっています。
鹿子嶋会長	P6～P7について4項目ございます。最初のほうは「B」ですが、残り3つは「C」ですね。いろいろ議論が出ていますけども、2番目の項目の「市民活動推進センター」については、実状と照らしてどうかという点で、評価が低くなっているのでしょうか。「D」評価の委員さんもいらっしゃいます。
政策課長	P6の「市民活動推進センターの設置」については、次の計画においても大きな課題と捉えております。頂いたご意見の中にも、「必要ない」といった意見から「工夫が必要である」といった運用方法の見直しに関する意見まで、様々なものがありました。これについては、今後、方向性を見出していきたいので、もしここに書いている以外でご意見がありましたら、できるだけ多く意見を頂けたらなと思っております。
鹿子嶋会長	従来のような運用であれば、必要ないのではないかと判断された方が少なからずおられるし、残すにしても何か有効な工夫はできないかというご意見で、評価自体は分かれていますね。
横田委員	最初にこのコーナーを設置する際、「市民活動を推進するためにパソコンとプリンターが必要」という意見なり判断とかがあって、このような「モノの設置」に至ったのでしょうか。また、団体からの希望はあったのですか？
地域振興課	団体等に聞いた際に、プリンターやパソコンが欲しいという要望はありました。
天野委員	設置は何年ですか。
地域振興課	平成22年からです。
横田委員	モノだけ買って協働が進んでいくのかということが、少し疑問ですね。
天野委員	パソコン研修がありましたよね。パソコンが普及したら自治推進が広がるのかという点と、なぜこういう形になったのかも疑問なのですが。
地域振興課	いろんな団体がいる中で、各団体に合わせた研修というのが難しいということで考えた結果、自分たちの団体でホームページが作れるようになれば、団体にとってプラスになるのでは、ということで、3回に分けてパソコン研修をした経緯があります。

天野委員	その研修が、各団体のホームページ作成には繋がらなかったということは、参加者の目的が違っていたのですね。
鹿子嶋会長	団体がホームページを開設したい場合に、丸亀市のサーバーをお借りできるといった形はどうですか。
地域振興課	当時は、「プロバイダーで提供されるホームページの容量を使って、団体自身でホームページを作れるようになれば情報発信ができるだろう。」と考えており、市のサーバーをお貸しするという事は想定しておりません。
鹿子嶋会長	次に P8～P9 に 4 項目ございます。この中でも、「市の事業への参入」ですが、実例等をふまえて「B」評価。3 つ目の「プロジェクトチーム」は、ほとんどの方が「C」評価で他に比べると評価が低いですね。どこまで進めるかというのが見えない現状からでしょう。では、この 4 項目についてお願いします。
高木副会長	<p>P8 の「(6)市の事業への参入」は、たぶん提案公募型協働事業を含んだ項目だと思います。この「提案公募型協働事業」に応募する場合、応募する側は、本当にこれが協働のテーマかとか、継続する事業かということ意識して出すのだと思います。</p> <p>P6 の市民活動ステップアップのほうはよく見たことがないのですが、大体が単発事業だった気がしますが、これは単発事業を対象にしているのでしょうか。それとも、これは継続を目的にした最初のステップアップを手助けするような形なののでしょうか。</p>
地域振興課	「市民活動ステップアップ事業」については、必ずしもその事業を続けるということではなく、できたらこれをきっかけにして団体にスキルアップしてもらって、もっと活発に動けるようになればと、そういう感じで行っております。
高木副会長	<p>きっかけにしても、5 万円という金額はちょっと少ないと思います。</p> <p>これはひとつの意見ですが、名称などにあまりこだわらずに、単発から繋がってきたら「良し」としても良いのではないのでしょうか。また、「ステップアップ」について、5 万円では団体で何ができるのかなという感じがします。提案公募型の件数が今のところ少ないなら、その分をこの部分に充てるなどして金額を増やして、「市と一緒に市の事業に参入するというもの」と、「助成金的な形で新たな単発の事業を応募して、実施できるようなもの」の 2 つを作ったらどうでしょうか。とにかく、5 万円ではあまり活発にはならないのではないかなと思います。</p> <p>提案公募の中にも単発で終わる事業もたくさん出てきていましたよね。そういう事業には単発の助成金で出すとか、単発ですごく充実したものをやりたいと提案してきた場合に、後々あまり良くない結果では残念ですが、単発であっても、その事業ができた場合はすごく評価されるものかもしれないので、そういった意味で分けるのは必要かなと思います。</p>

鹿子嶋会長	<p>以前からある「提案公募型の事業」と「ステップアップ事業」の境目ということでしょうか。応募する側もどちらなのか分かりづらいということですね。今のご意見だと、「単発事業みたいなものはどっちにいったらいいのか」も考えておかなければいけませんね。5万円という額の問題も書き加えておきましょう。</p>
政策課長	<p>いろいろと貴重なご意見を頂きましたので、これを「ステップアップ」と「提案公募型」に反映させていただきたいと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>P8～P9 で何かございませんでしょうか。</p>
天野委員	<p>先ほどの副会長の意見に関連しますが、私も所属する団体で新しい事業をしよう、応募しようと思って書類を頂いたのですが、書類を見た段階で、私にとっては複雑でややこしい書類作成という感じがしまして、今回は自分の所の会費から出して事業をしました。事業を継続するのに毎年5万円が頂けたらありがたいなと思ったのですが、さっき話にもあったように「単発」が主みたいな感じで、それも少しネックになって思案しているところがあります。書類作成がもっと簡単に、そういったことはないのでしょうか。</p>
政策課長	<p>それは「ステップアップ」と「提案公募」の両方に言えることでしょうか。</p>
天野委員	<p>かなり前に頂いて読み込む以前にこれは複雑だなと思ってやめました、どちらに属するのも分からないのです。多分、「提案公募型」のほうだと思いますが。</p>
秋山委員	<p>「提案公募型」の事業が始まった当初、非常に市民側の熱意もあり、何か市が協働でしていただけたら、一年間ある程度のものを頂けたりするというところで実施したケースを何年か見ていったところ、「これはすごいな。皆さん頑張っているな」といったものが非常に少なかったと思います。今でも、この「提案公募型」あるいは「ステップアップ」でもそうですけども、上手くこれに乗ってやっているということを目にすることがありません。</p> <p>どこかでそういう事業をしているところの成功例などの情報を詳しく教えていただけたら、「私たちもこれをやってみよう」「単発でも、あるいは継続でもやってみよう」という団体が出てくるのではないのかと思うのですが、今のところ、そういう状況ですから、当初の「提案公募型」の印象がずっと残っており、あまり良い印象を持っていません。ですから、上手くやってこういうケースもあったというようなものを教えていただけたらいいなと思います。見る方法はあるのでしょうか、一般の方がそれを耳にすることがほとんど無いということで、できたらお願いしたいと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>まず「書類」を応募段階でどうにか簡素化できないかというご意見。それから、もう少し活性化するために実施例等の情報を使った PR を行ってはどうかといったご意見がございました。補助金とかが絡むと書類が複雑になるのは解るのですが。</p>

政策課長	<p>今ご意見頂いたように、「協働」についてはいろんな所で行われております。「提案公募型」につきましても、非常に良い事業があって、今も継続されている事業がいくつかあります。そういった内容をこれまでホームページには載せていますし、広報にも時期をみて周知したりしているのですが、それでは、十分に情報として伝わってないのだと思います。なので、そういった効果的な情報を発信する方法、例えば紙ベースのチラシを申請書に付けておくだとか、そういったアイデアを委員の皆さんのご意見もいただきながら考えていかなければいけないのかなと思っております。</p>
高木副会長	<p>私も市のホームページを見てみたのですが、情報としては出されていますし、24年では67件の協働事業が出ているという資料もこの会で頂いたことがあるので、情報は提供されていると思います。写真入りで出したらどうかといったご意見も中にはありましたが、写真入りで広報に出たこともあります。</p> <p>身近でなかったら情報はスッと流れていってしまうので、情報が残るようにするのは難しいと思います。ただ、「提案公募型」の中で、私が知っている中でもいくつかは「委託事業」まで継続している事業もありますので、もし見学などが可能であれば、見学などもあっていいかなと思います。私の所の事業は、個人情報に関わるのでそういうことは難しいですが、子育て広場さんとかはそういった個人情報とは関わりなく見学とかできると思うので、そういった所から始めれば、団体のほうにも協力していただけるのではと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>情報提供の改善というのはなかなか難しく、最初の「広報・啓発活動」においても皆さん「B」評価が多く、行政側の評価より我々の評価が高かったですね。実際、ホームページや広報を通じてやれることはやっている一方で、私たちのほうには具体的な情報が届いていないのではないかというご意見があります。そして、これ以上どのようなことをすればいいのかというアイデアは枯れていて、難しいところだと思います。「見学」というご意見も出ましたし、一般的な情報発信としては「ツイッター」とか「フェイスブック」を活用してはどうかというご意見も載っておりますが、まだ他に策があるかどうかは厳しいと思います。</p> <p>P8～P9に関連いたしまして、他に何かご意見はありますか。</p>
横田委員	<p>「プロジェクトチーム」と「協働推進連絡会」について、「新規採用職員を対象に研修を行った」とありますが、それは内部に限った研修という形ですね。</p> <p>例えば市民活動グループと一緒に協働本来の目的などを勉強する会とかは開催されているのでしょうか。</p> <p>私は県単位での活動が多く、県のいろんな勉強会に行くことがありますが、いろんな所から、行政担当者も市民団体も施設も来るといった中で一緒に「ワークショップ」をします。その中で、自分たちのミッション、目的などを明確にしていったり、顔を見て、お互いにこういうことをやっていきたいといった話し合いを一緒にテーブルでやりたりして、そこで理解しあえる部分もあります。</p> <p>同じ部署だけでやっている、(他の人には)「なかなか分かってもらえないね」って</p>

	<p>話になってしまうので、「研修会の開催」のほうでも、行政と一緒に学び、交流をするような場があったら良いと思います。やはり顔を見て話し合うことで進むこともあると思いますし、全国セミナーなどに行くと、業者の方々がたくさん来ていて、熱意のある方々もたくさん来られています。協働事業のことを「面倒」という方もいらっしゃるかもしれませんが、両方が進んでいけたらいいかなと思っています。</p>
鹿子嶋会長	<p>今お話にあった「ワークショップ」のような形で、職員と市民の方が同じ立場に立って議論しあうというのは、協働事業に限らず、何らかの政策形成をする段階では本来ならば色んな広い場面で取り組みが広がっていけば、協働関係ができそうですが、なかなか聞かないですね。</p>
事務局	<p>先ほどおっしゃっていただいたような研修会ですが、行政と市民の方とで平成 20 年頃など、過去にはやったことがあります。今現在はそういったものができていない状況でありますので、ご意見頂いた部分は、資料に入れさせていただきたいと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは最後の P10 になります。評価はいずれも「C」評価で低いですね。</p> <p>事例集については、作られていることは作られている、あとは活用の問題ということですが、これは実状が良く分からない我々としては評価しづらい項目ではあります。次の「研修会」の話も、先ほどの話と少し繋がるかもしれませんが、それでは、P10 の 2 つの項目の他にも全体的にご意見がありましたらよろしくお願いします。</p> <p>項目として 14 項目ございますが、進捗状況というものも抜本的に考え直したほうがいいのではないかとという項目から、もうかなりやることはやっているけれども、効果の面でどうかといろいろありますね。この評価を次期委員さんに引き継いでいただいて、具体的な策を検討していただくこととなりますが、引き継ぐ上で提案というか、こういう方法で検討していただきたいみたいなものもございましたら、ご意見等でも結構ですのでお願いします。</p>
高木副会長	<p>P10「事例集の作成」というところで、写真も一緒にこういう活動をしていますと掲載の方がイメージを持ちやすいという意見がありました。</p> <p>これまでであれば、紹介について、例えば学校と協働してこのような事業を行っていますみたいな感じの文章になっているし、広場のような活動をしているところだったら「乳幼児の親子への支援を行っています。」とか、そんな形の説明になってしまうので、何度紹介しても、文章では中身が見えにくいかなと思います。最初に提案していたものと今とではぜんぜん違う部分だったり発展していたり、連携の形も当初とは全然違うし、一つの子育て団体として協働の中身というか広がりみたいなのも本当に進んでいるという部分を行政の職員の人にも知らないのはすごく残念だと思うので、そこまで深く分かるような情報提供の仕方が必要かなと思いました。</p> <p>繰り返しになりますが、市の事業に参入するというのに手を上げる事業の提案と、団体のスキルアップとか、「単発」事業等、募集の仕方だったり提案の企画書だったり区別はあっていいのかなと思います。市の事業に参入し、一緒に事業をしませんかという</p>

	<p>ものについては、ある程度自分たちで書類を作り、事務もできるというものでないと、市のほうも一緒にやろうとは思わないと思うので、そういった差は必要だと思っています。それが全ての事業にとなったら大変なので、区別というか差はつけた方がいいかなと思います。</p> <p>「市民活動推進センター」は、市側にどれくらいの考えがあるのかが分からず、意見をだすのが難しいとは思っています。スペースをどうしたらいいかということなのか、本当にセンターに近い場所、活動できる会場又はミーティングスペースを貸すといったことなのか、出すときにどれくらいの規模までか、規模なんて関係なく出してもいいのかなとか、そういったことは思いました。</p> <p>「市民活動推進センター」について、今色々と考えてはいますが、この間、高松市の市民活動センターを見てきました。そこでは、ある程度必要な機具も揃って、職員の方が1名常駐しており、そこで独自のホームページだとか、番組みたいなものを作っておられるような感じでした。</p> <p>本市においても、NPOの方々からのニーズなどがあれば、コーナーと言う形ではなく、スペース的なものも必要なのかなとは考えております。ただ、問題は運営の面で、場所だけ作ってもなかなか活用されないのではいけないので、団体の方に、どの程度ニーズがあるのか一度聞いてみなければならないと思っています。</p> <p>今考えておりますのは、例えば「ネット上」で情報交換できるような場を立ち上げてみてはどうかというものです。なおかつ、実際のスペースが必要であるのならば、また検討してみてもいいのかなとは思っています。</p>
政策課長	
秋山委員	<p>市もいろんな情報発信はしている。しかし、あまり行き渡ってない。情報発信よりは情報交換の場が必要ではないのかというのは、今日改めて皆さんの意見を聞いて非常に思いました。「市民活動推進センター」にしても、そういう情報交換の場があったら、NPOの方々だとか、協働に関心のある方々が来ると思います。平成20年、21年には活発に活動されていましたが、その後は聞かなくなってしまうましたが、皆さんが集まる場があったらもっと寄り添って、「ちゃんとこんな場所を作ってくれた」、「色々考えてくれた」ということで今後生きてくると思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>箱物で場所をどうするかというよりも、中身のソフト面でどういうものを使ったほうがいいかとかいう感じですかね。他にご意見はございますか。</p>
大山委員	<p>全体的に見れば色々あるとはいえ、丁寧に計画を検証したということをまず評価したいと思っています。こういったものは、事務局原案が出て、「これで良いですね。」という形が見られるのですが、何度もこのようにやりとりしながらやったという点では非常に評価していいと思っています。その中で、例えば事務局からの情報公開の仕方が分かりにくいところがあったということも一つ分かりました。それから、自分もそうですけども今回評価をするときに、分からない場合は、行政が評価しているのだからいいかなという、追認という形になったのではないかな、そういったことも含めていろいろな経験</p>

が蓄積できたのかなと思います。今回はきれいにいかななくても、次回似たような計画の見直しをやる時はそこからスタートができると思うと、やはり良かったのではないのでしょうか。また、こういう場で色んな意見が出てきたという意味で、全体としては非常にやって良かったと思いますし、事務局にも努力して頂いたというふうに思います。

細かい意見に関して言えば、職員の位置づけとして、「市民と協働する市役所側の立場」だけがクローズアップされているのですけども、多くの職員は住民でもあるわけですから、自分が活動する町内会やNPO活動に公務員の方が参加しやすい土壌、またそういった方がこういった所の担当になってもいいのかなとは思っています。あるいは、なぜ協働が進まないかを考えると、多分、今の日本の働き方だとか色々なものが関わってくる、そういう意味では市役所側も事業所として、公務員が活動しやすいような環境をつくれれば、それが他の企業のモデルになるのかなと思います。そういった発想も取り入れていけばいいと思いますし、自分で活動された職員さんが入ってくることで両方の意見が分かるような気もするので、そういう意味では、活動する職員を育てるといった方がいいのかなと思います。

それから、時代の変化・丸亀市の現状を踏まえたうえでNPOや自治会はどういう位置づけなのか、その他の団体はどういう位置づけなのかを一度見直して次回計画を立て直すというのも有りなのかなとは思っています。地方分権は地域の状況に応じて多分変わるので、全部の市が同じようなことをやればいいのかというわけではなく、丸亀が占めている位置を素直に見直したうえで、現実を踏まえた計画をつくってもいいのかなというふうに全体を見ていて思いました。

最後のセンターの件で言えば、似たような中間支援的なサービスを既に実施している社協やボラ協などとの意見交換をきちんとされるべきだと思います。似たようなサービスを提供している団体があると思いますし、市以外を見れば、ほかにも色んな中間支援団体はありますので、利用者側だけでなくそのような中間支援団体とお話をされてみるのもセンターに関しては良いのではないかと思います。

小阪委員

私は、自治推進の会が行われていることも知らなくて、実際に参加してみたら市の職員や市民の委員がいて、その委員の中には実際に団体に活動されている方もいて、そういった方々が難しい話をしていて、いつもついて行くのに必死なのですけども、参加しないと聞けない声があり、深いなと思っています。

天野委員

先ほど社協の話が出ましたが、活動推進センターがあまり活用されていないというのはボランティア協議会や社協が代わりの役割を果たしているというところもあるのですね。NPOなどの団体がボランティア協議会に所属しているという場合もありますよね。パソコンやプリンター、会議の部屋といったものは、活動推進センターを利用しなくても、ひまわりセンターで足りているのではないのでしょうか。

NPO 団体が丸亀にどれくらいあって、そのうちのどれくらいがボランティア協議会に属しているのかは分からないのですが、どういう状況なのでしょう。

秋山委員

NPOの法人格は私の団体はとっていますけど、丸亀・飯山・綾歌6団体ずついて、NPO

	<p>をとってらっしゃるところは無いのです。しかし、NPO に関連のある方々がいっぱい出入りされているので、そういうふうに使われています。</p> <p>以前、会に綾歌の方が来られたこともありましたが、その時に、「私たちはこっち（旧市内）まで来られない。」とおっしゃっていました。実際私のところには、旧市内に近い方は来ますけども、飯山・綾歌の方は来られないですね。そういう経緯があって、せっかく「市民活動推進センター」があるのだから行きたいとは思いますが、わざわざ旧市内まで来なくてもというのはあると思います。</p> <p>また、私のほうでも、いっぱいできている NPO は把握できておりませんし、身近な加盟団体とのお付き合いが主となっています。ボランティア協議会の横に推進センターを置こうという案もあったのですが、そこを加盟団体以外の人も使うので、無理かなあという意見もあり、決まらない間に、なんとなく「市民活動推進センター」ができたという感じがいたします。「もっと活発に皆さんどうですか」というようなことは、これからも言っていこうとは思いますが、せっかくあるのですから、活用したいですね。</p>
鹿子嶋会長	<p>本日、見直しに関する検証（案）ということで色々なご意見を出して頂きました。もう一度これをご確認いただくことは任期の関係上難しいので、本日出ましたご意見も合わせて、事務局と私の方にご一任いただければということでよろしいでしょうか。</p> <p>(一同同意)</p>
鹿子嶋会長	<p>最後、事務局のほうから何かございましたらお願いします。</p>
政策課長	<p>資料として、本日「アンケートの実施状況調べ」というものを添付しています。これは、前回の会で大山委員から「市はアンケートをたくさんしているけれども、どういう管理がされ、内容は市の中でどういうふうに応用されているのか」というご指摘を受けまして、実際、それぞれの課がアンケート自体は管理しているものの、市全体ではその情報が十分に共有されていないということも分かりました。今回、事務局で各課の状況を調べまして、公表されている約 30 弱のアンケートを載せております。これは時期をみて更新されますが、このデータは政策課で集約して、市役所内の LAN に載せ、職員誰でも見られるような形にしていきたいと思います。</p> <p>また、アンケートの内容についてはホームページにも載せてありますので、一般の方も見ることができるのですが、今回は市役所内で集約されたものが一箇所で見られるという形にいたしました。</p> <p>今回、協働だけでなく市民参画などいろいろなご意見をいただいた中で、できるものについては取り入れていきたいと思っております。「フェイスブック」などの提案についても検討しておりますので、また今後ともアドバイスいただけたらと思っております。</p>
鹿子嶋会長	<p>前回、「アンケートの結果を把握しているのであれば」ということで資料を添付されたということですね。ホームページで公開されているものが多いですが、それは「審議会」といったところで見ることができるのですか。</p>

政策課長	<p>ホームページ上、各分野に分かれているという状態なので、こういったのも工夫が必要かなと考えております。</p>
鹿子嶋会長	<p>こういうアンケートをやっていますよというのが一覧で判ると、アンケートに協力しようかなという気持ちも出てくるかもしれませんね。自治基本条例でいうとパブリックコメントなどが市民の意見を集約したものとしてあります。規模によって手間がかかるため、全部が全部できるというわけではないのは分かるのですが、市民のご意見は出されたものしか対象になりませんが、アンケートの場合はもうちょっと客観的なご意見があって、かなり有効な手段ではないかなと思います。</p>
大山委員	<p>すぐに対応していただいてありがとうございます。「情報の公開」という項目で委員の評価が高いというのがありましたけども、今回、比較的早く対応していただいたという点も、委員の心象を良くしていたのだろうし、実際に市民にもいずれ伝わることだろうなと嬉しく思っていますが、もう一つ、結果の共有だけでなく作成のノウハウを職員が身に付けるという事もお願いしたいと思います。</p>
岡田委員	<p>P5の「まちづくり計画未策定」の地区がありますが、私の地区はそのひとつです。私のほうでも去年2回ぐらい会を開いてはみたけれども、ものすごく忙しく、それどころでは無い状況でした。地区によっては、人材豊富なところもあるのですが、私の地区はそうではありません。</p> <p>去年の時点で2回会をやっているの、あらかたの骨子はできていますが、新年度に入って所長が代わり、どうやっていこうかということで模索中です。小学校の建替えもあり、色々なお祭りごとを9月末までにやってしまわないといけないということで、何からしていったらいいのかというのが現状です。各コミュニティもそうだと思いますが、協力者が少ないのです。</p>
田尾委員	<p>2年間勉強させていただきました。最初の段階で一点か二点に絞って市長さんに提言していくのかなという意気込みで来たような気がします。最終的に幅広い内容に最後はなりましたが、結果的には良かったのかなと思っています。</p>
仁科委員	<p>2年間、色々なお話を聞かせていただきまして、ありがとうございます。市のほうも色々な形で真剣に取り組み、特に、資料作成の点では非常にすばらしく感謝いたします。私自身、十分な時間があるわりには、準備をせずにこの審議会に臨んだという点で、残念だったなという気がしますし、一つ一つのことに対してもっと理解を深めて、この審議会の中で話を深めていきたかったという反省があります。2年間、皆さんのおかげで今日まで委員を務めることができたことに感謝いたします。ありがとうございました。</p>
平井委員	<p>私も同じです。大山委員から指摘のあったアンケートを、これはいいなあと思いながら見させてもらいました。前回か前々回ですか、相談室を作ってパソコンや色々なもの</p>

を用意して、これを閉鎖するかしないかでお話したのですが、私個人の考えとしては、そういうものを委員とか一部の人間がお話するよりも、こういったアンケートを使って現実に使う人の意見をもう少し、見方を変えたら色んな手があるのだということに最終回で気がつきました。引き続き委員をされる皆さん、どうか実施していただいてもいいかなと思います。ただ、この回答率をどのようにして上げるかが問題なのでしょうね。

企画財政部長

皆さん、今日は長時間にわたりありがとうございました。「協働推進計画に関する検証」ということで、大変な作業になってしまい申し訳ありませんでした。これからこの検証をもとに25年度では「第二次協働推進計画」を策定していかなければなりませんので、この意見を十分に参考にさせていただきたいと思います。また、計画の策定よりも、計画を実践するほうが一番になってまいりますので、また色々ご意見をいただけたらなと思っております。任期が2年ということでもう終わりになるのですが、最初は市民参画とか自治基本条例の周知をどうするかといったところからご意見を頂いて、最後、このような検証という形になりましたが、色んな意見を頂き、皆さんありがとうございました。

丸亀市もご存知の通り、昨日から新しいリーダー「梶市長」が就任されて、これから新しい「まちづくり」を進めていくのですが、基本はやはり自治基本条例に、自治推進にのっとって進めていかななくてはなりませんので、また色々市の動きのほうを見ていただけたらなと思います。

また、25年度から市の組織が一部見直され、企画財政部の政策課内に「市民活動推進室」というのを設けました。今までも活動はやっていたのですが、心機一転ということで進めていきたいと思っています。それに加えて、先ほど言われました職員・市民・企業・ボランティア団体・NPO法人等との連携を深めていくということで、これからやっていきたいと思っていますので、また色々なご意見等も頂きたいと思っています。

それと、公募委員の皆さん。本当にありがとうございました。毎年、公募委員については色々な審議会・評議会が募集がありますので、色々な所でご参加いただけたらなと思います。よろしくお願いいたします。

鹿子嶋会長

今日出されたご意見を私の方にご一任いただき、修正を加えたものを最終的な文章とさせていただきます。他の委員さんもおっしゃった通り、市の職員の方には毎回毎回丁寧な対応をしていただいて、アンケートのほうも本来ならなかなかやる気が起きないところを頑張ってやっていただいて、本当に助かりました。また、丸亀市の自治推進委員会は他市に比べて活発で、これは市職員の方の意識が高いし、市民の方も丸亀市のことを愛してらっしゃるんだなあと感じております。評価は「C」とか「D」ですが、これはまだまだやれるということだと思いますので、任期を終えられる皆様、これからは丸亀市を叱咤激励していただけたらと思っております。本当に、皆さんのご協力のおかげで何とか2年間最後まで来ることができました。2年間ありがとうございました。

本日の審議会はこれで終了いたします。皆さん、お疲れ様でした。